

## そんなところで寝ていちゃ、 ダメ～家具の配置に要注意～

前の日の夜が仕事で遅くて、その時間までまだ寝ていたんです。最初軽く揺れ出して、「あ、また地震だな。まあ、いつものことだから」と思って、そんなに慌てもしなかったんですけど、すぐにクレーン車か何かが突っ込んで来たんじゃないかと思うほどの揺れになりました。



で、あわてて、パジャマのまま、2階の部屋の窓から1階の屋根の上に飛び出たんです。「上から2階の屋根のかわらが落ちてきたりして、かえって危ないよ」とあとで人に言われたんですけど、その時は夢中でした。

私が寝ていた場所というのは、頭のほうにテレビが置いてあって、足元には冷蔵庫が置いてありました。やっと揺れがおさまって、振り返って自分の部屋の中を見たら、テレビと冷蔵庫が自分の寝ていた場所にドン、ドンと転がっていたのです。それを見て、「逃げてよかったな」と思うと同時に、「そんなところで寝ていちゃいけないな」と思いました。

## 食器が水のように流れてきた ～食器やガラスは割れると凶器に～

納屋を整理しようと思っていたら、グラグラッと来ました。いつもならすぐ止むのに、なかなか止まない。

観音開き ※ の戸が開いてガラガラ、二階からもガンガラガンガラ。何がなにやら分からず、ヘビににらまれたカエルのように一步も動くことができませんでした。



食器が水のように流れてきたという感じで、上の方に置いてあった輪島塗などはほとんど壊れてしまい、どうでもよい下のほうに置いてあった百円ショップで買った安物が残りました。

春休みで遊びに来ていた孫たちも、長靴をはいて家の中の倒れた家具の間を泳ぐように歩いていました。それから、一緒に住む孫の親指にガラス片が刺さり大騒ぎになりました。すぐに娘を職場から呼び戻し、車で病院に連れて行ってもらいました。

孫の痛がる様子を見て、ガラスは割れると凶器になるんだということを実感しました。最近は揺れても簡単に開かない観音開きもあると聞いていますが、「何とかしなきゃ」と思っているので、取り敢えず金具は買ってこようと思っています。

※観音開きとは、中央から左右に広がって開く形式の扉のこと。

## スリッパではあぶない家の中 ～部屋の中は、どこもワレモノだらけに～

私の家は「一部損壊」でしたが、うちの中はそこら中の物が倒れて、足の踏み場もないほどでした。

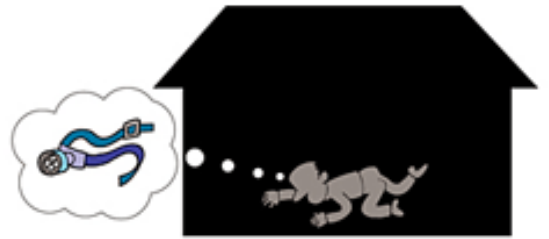


台所の食器棚は扉が開き、中の茶わんやコップがほとんど下に落ちて、床の上に踏み場もないほど散乱していました。

よく「防災グッズとしてスリッパを用意したほうがいい」なんて言いますがけれども、ああいう時は、実際、スリッパなんて、とてもじゃないけど使いものになりませんね。カンタンにはぬげない、底の厚いしっかりした靴をはかないと足を切ってしまうそうだったから、家族みんなが家の中でも長靴やズックをはいていました。

## 灯りがなければ逃げられない

地震が起きたのは、10月半ばを過ぎた午後6時ちょっと前。わたしらの地域は、そのころにはとっぷり日が暮れていました。で、電気はもう一発で消えちゃって、真っ暗闇になりました。



家の中は上から落ちてきたものや倒れてきたもので足の踏み場もない。そんな中をいろいろなものにぶつかりながら必死の思いで外に出ました。灯りがなければ、自分の家からも簡単には逃げられないんですね。

何と言っても避難するときの道具、特に灯りは必要だと思いました。